

みんなの公園管理運営方針

1 趣旨

本方針は、平成31年(2019年)3月策定の「八王子駅南口集いの拠点整備基本計画」に基づき、市街地の貴重な緑として地域の魅力を高め、イベントやレクリエーションの場として多世代のつながりを生み出し、誰もがゆったりと心地よい時間を過ごせる公園の実現に向け、果たすべき機能と役割、運営の方向性をより明確にすることを目的として策定する。

2 施設概要

その他市内公園と同様、24時間365日の利用可能とする。

3 設置根拠

(1) 根拠法令・条例

みんなの公園は、都市公園法(昭和31年法律第79号)第2条に規定する都市公園となる予定である。

(2) 関連する計画

- ア 八王子ビジョン2022
- イ 都市づくりビジョン八王子
- ウ 八王子駅南口周辺地区まちづくり方針
- エ 八王子医療刑務所移転後用地活用計画
- オ 八王子駅南口集いの拠点整備基本計画

4 管理運営にあたっての基本的な考え方

(1) 目指すべき公園像 ～「市街地のなかの花と緑が つながりと魅力をつくりだす まちのシンボル」～

都市における自然のシンボルとして、貴重なみどりを提供し、「緑と太陽」の豊かな自然環境を提供する。

また、イベントを開催することで施設の魅力をさらに高め、レクリエーションの場として多世代のつながりを生み出し、まちのシンボルとしていく。

(2) 特色及び機能

ア 集い・交流機能について

鳥のさえずりや木々の緑、色とりどりの花々の中で心地よい時間が流れ、季節ならではの食材を味わえる地産地消マーケットやマルシェ、大道芸などの公園イベントでにぎわいを常に提供が出来るよう企画及び実施するとともに、多世代交流や遊びを通じて、子どもの公共心や学びの場を提供する。

また、憩いライブラリとの連続性を活かし、みどりいっぱい陽だまりの中で読書を行えるなど、上質な公共空間を提供するとともに、歴史・郷土ミュージアムとの連続性も考慮し、講堂・集会室と公園が一体的に利用できるなど、みどりと文化の融合を図る。

イ レクリエーション機能について

健康寿命の延伸を図るため、ウォーキングやヨガ、ジョギング講座などの健康プログラムを定期的に行い、緑のなかで心身ともに健康づくりを行えるとともに、八王子市の未来を担う子どもたちの

身近な遊び場として体全体を動かし、安心して遊べることを提供できる場を提供する。

また、初心者を対象としたキャンプ体験講座や公園内の素材を活用した工作プログラムなど、自然と触れ合うことができる体験の場を定期的に提供し、自然を肌で感じることができるようなイベントを導入する。

さらに、園内の見ごろの植物を学ぶクイズ・ゲームラリーなど、散策や会話を楽しみながら交流を深めることができる参加交流型のレクリエーションを定期的に提供する。

ウ 景観形成機能について

都市における自然のシンボルとして、美しい景観やイベントのにぎわい、四季の彩りや草木の香り、陽ざしの暖かさや鳥のさえずり、桜の花見など、自然を五感で楽しむことができ、自然を慈しむ心を育む景観を提供する。また、姉妹都市の連携協力のシンボルとなるものを配置し、身近に感じられるような取り組みを行う。

エ 管理運営体制について

複合機能施設としての相乗効果を発揮するため、みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム、憩いライブラリ、交流スペースを連携させた多様なイベント等を実施し、一体の施設として効率的な管理運営を行う。また、利用者の多様なニーズに応え、気軽に利用できる居心地の良い空間を創出するとともに、社会情勢の変化に対応し、時間と共に魅力を高める取り組みを行う。

さらに、みんなの公園では、芝生広場や樹木などの管理の充実を図り、芝生の上に寝転がれるような良質な空間を提供するとともに、設置する遊具では、安全に安心して体全体を動かした利用ができるよう、定期的に安全性の点検を行う。

集いの拠点駐車場は、施設利用者における自動車の駐車需要に対応し、安全・安心に利用できる駐車サービスを提供する。

オ 防災機能について

平時には、地域の防災訓練の場として活用し、防災意識を高めるとともに、有事の際には、広域避難場所として活用し、災害対応を行うなど防災機能を備える。

カ 市民参加について

利用者満足度調査などを適宜行い、市民の意見を取り入れた良質なサービスを提供する。また、地域住民とのふれあい及び協働を視野に入れ、花や緑を育てるボランティアの積極的な活用など、管理運営全般に市民参加を取り入れる。

キ 自主事業について

自主事業など事業者の任意提案により、施設の役割・魅力・機能等を向上させるイベントや物販等の自主事業を実施する。

5 設備

(1) 広場

イベント広場と芝生広場を配置する。芝生広場は、四季を感じ、緑を楽しむことができるよう、天然芝とし、くつろぎやすいようにできるだけ平坦地とする。

また、イベント広場では、マルシェ等のイベントが行えるよう、電源や上下水道、照明等の設備を確保することとし、イベントの際の仮設トイレの設置を想定したスペースを設けることとする。また、資機材の搬入搬出や、キッチンカー等が利用できる舗装路を設ける。

さらに、広場全体においては、芝生管理を適切に行い、常時開放感のある広場を維持する。芝生広場とイベント広場を兼用とする場合には、憩いとにぎわいが共存可能な設えとする。

(2) 園路(プロムナード・園路)

公園の玄関口として、来訪者を出迎えるにふさわしい空間として、わくわく感や高揚感が得られるプロムナードを設ける。また、プロムナードにてマルシェ、大道芸などのイベントが行えるよう、電源や上下水道、照明等の設備を確保する。

また、施設内にはランニング・ウォーキングコースを設け、舗装面は歩きやすい仕上げとする。

(3) 休養施設

夏の日差しや降雨をしのぐ場所として屋根付き広場や四阿(パラソル型の移動式テーブル及びベンチも可とする)を設ける。また、利用しやすい位置に適切な数のベンチを設ける。

(4) 遊具施設

子どもたちが自らの力を生き生きと発揮できる、跳躍系遊具(例えば、ふわふわドーム)など、体全体を使って遊ぶことができ、目玉となる遊具を設置する。

(5) 便益施設

みんなの公園内には適切な位置にトイレを配置するよう計画する。特に、遊具エリア付近にはトイレを設置するとともに、適切な場所にだれでもトイレを設ける。

なお、災害時は、簡易・携帯トイレを使用できるような設えとする。

(6) 倉庫

防災品やイベント等の備品を保管できる倉庫を設置する。

(7) 駐車場

キャッシュレス決済等、利用者の利便性に配慮した駐車料金徴収システムの駐車場を設置する。

大型車両、車いす使用者用駐車場の台数を含め230台程度を確保する。このうち用地Gについては、駐車場機能の他、平日等利用者が少ない場合に、運動など他の目的での利用が可能な整備をする。

(8) その他

設置管理許可制度などを用いた施設の役割・魅力・機能等の向上に資する施設の整備を期待する。
近隣への騒音、視線、落ち葉など、周辺地域の住環境に配慮する。

6 運営体制

(1) 運営主体

管理運営にあたっては、公園や屋外施設の適正な維持管理、各種事業の実施などを円滑に行い、安全・安心・快適な公園利用ができるよう、指定管理者制度を導入する。

(2) 市と指定管理の業務分担

分類	分担		業務内容
	市	指定管理者	
施設管理	×	○	
情報発信・イベント実施等	△	○	広報原稿作成及びイベント企画の一部は市、情報発信事務、イベント実施等は事業者

(3) 指定管理者が行う業務の範囲

指定管理者が行う業務として、以下の業務を想定する。

1. 運営業務

ア. 行為許可

イ. 使用制限・使用禁止措置

ウ. 収納事務

- エ. 防災防犯対策
- オ. 利用指導業務
- カ. 要望・苦情の処理
- キ. 資源の有効活用
- ク. 自然環境の保全
- ケ. 公園アドプト団体への支援
- コ. 地域との連携及び協力
- サ. 利用満足度調査
- シ. 自主事業
- ス. 情報提供
- セ. 修繕計画の提案

2. 維持管理業務

- ア. 公園維持管理
 - (ア) 樹木・芝生管理
 - (イ) 除草作業
 - (ウ) 清掃作業
 - (エ) 病虫害の防除
 - (オ) 特定外来生物の防除
- イ. 屋外施設の維持管理
 - (ア) 施設清掃
 - (イ) 点検・補修
 - (ウ) 駐車場管理
 - (エ) 照明設備管理
- ウ. 物品の管理に関する業務
 - (ア) 備品
 - (イ) 備品以外の物品
 - (ウ) 消耗品
- エ. 公共料金に関する業務
 - (ア) 年度区分等
 - (イ) 料金改定

(4) 管理の体制

1. 職員体制

公園管理全体の管理責任者、その補佐として副管理責任者を配置する。そのうえで、業務が円滑に行われるように適切な管理要員を配置し、管理運営にあたる。

2. 研修

管理要員の育成に努め、管理運営に必要な研修を適時実施する。

3. 安全衛生管理

ア. 作業時の安全管理

- a. 作業の安全規準を定め、事故や労働災害の発生を防ぐ。
- b. 健康診断を実施する等、労働衛生の管理を行う。

4. 危機管理

ア. 防火管理者

消防法第 8 条に定める防火管理者に関する業務全般を行う。

イ. 緊急時の対応

- a. 公園内で事故や地震・豪雨・台風・大雪・火災など、災害等の緊急事態が発生した場合、速やかに必要な措置を講じるとともに、市及び警察署・消防署・医療機関等の関係機関に対して緊急事態発生を旨を通報する。
- b. 市への報告の手順と様式は「被害状況及び巡回実績報告について」に従うこと。
- c. 事故等が発生した場合、指定管理者は市と協力して事故等の原因調査に当たること。
- d. 緊急事態が発生した場合に備えて、対応マニュアルの作成や災害時における非常警戒配備態勢を整えておくこと。

ウ. 災害応急活動等

指定管理者は、災害時において指定管理者の責務として活動するほか、市が『八王子市地域防災計画』に基づき市が行う災害応急活動等に協力する。

(5) 有事の際の対応

有事の際には、以下の対応を行い、利用者の安全を確保するとともに、市が行う救助・救急活動等の作業に積極的に協力する。また、平時からの取組として、迅速かつ的確な災害対応を行えるよう、市と指定管理者は、災害時における当該施設の位置付けや、互いの初動対応について共通認識を持ち、合同による防災訓練や防災計画の見直し等を行うなど、災害対応に向けた連携を図る。なお、複合施設は、関連所管も含め連携強化を図る。

1. 行政機関、地域への協力活動
2. 利用者の安全確保
3. 建物・公園の安全確認
4. 一斉帰宅の抑制、備蓄
5. 職員への安全対策
6. 震災対策活動